



オーストラリアワーキングホリデー

◆オーストラリアに渡航する前に知っておくこと◆

◆オーストラリア豆知識 渡航前に知っておいてほしいこと◆

都市部編

～3分ルール～

都市部へ行ったら、特にホームステイに行ったら絶対にホストファーザーやホストマザーに、あるいはシャワールームの目線の位置に必ず書いてあったのを覚えています。

「シャワーは3分まで！！」といった具合です。中には5分の家もありますけどね。

オーストラリアは水道代が高いので日本人が好む「風呂」という文化はそれほどなくシャワーが主流であり、日本人のように風呂に入るとい習慣はないです。うかつにバスタブにお湯を張ると怒られますよ！

特にシャワーのことに關しては体を洗っているあいだはシャワーを止めることが口うるさく言われます

なぜならオーストラリアのタンクは日本のものと違い、一定の量のタンクに溜まった水を沸かしてホットシャワーに使っているために、そのお湯を使い切ると水になります！バックパッカーズホテルでもそういうことはありました

なのでシャワーに關しては体を洗っているあいだは止めましょう！ちなみにカントリーサイドはこのような規制がないのでバスタブに入れるというのが不思議です。

都市部では水道がものすごく高いので、お風呂好きな日本人は配慮が必要です。

◆ラウンド編～車で事故らないためにと意外なこと

オーストラリアに行ったら大半の人はラウンドすると思うんですが、クルマを買う時に注意しましょう。特に胡散臭いフランス人から車を買ってはいけません・・・エンジンスターターが動かないクルマを50ドルで売りつけようとしていましたからね。

オーストラリアは本当に気を付けないと時間とお金が消えてしまうので、そうならないためにも知っておいて損はないことをお伝えします。

・車は綺麗なものを買う事特にボンネットやミラーが割れていたりすると面倒・

車でラウンドをする方は、クルマを買う時点で本当に注意すべきところが有り、

・ミラーが割れている

・フロントガラスにヒビが入っている

・ボンネットの凹みなどなど

このような車の壊れ方は直さないでいると、行ってストレスになるからやめたほうがいいです。

为什么呢？

警察に止められまくるからなんです。

オーストラリアのほとんどの人、特に都市部ではなく田舎に住んでいる人達は必ずと言っていいほど4WDの車であり、ランクルを好む傾向がある。(トヨタのランドクルーザー)そして必ずバンパーは標準装備であり、このバンパーこそが重要です。

オーストラリアは結構大型の動物が普通に道路をよこぎるんです。

だから人を引いたのか、カンガルーを引いたのかがわからないから声をかけるそうです・・・

しかもバンパーがないとカンガルーよりも車の方が一発で車がスクラップになるから危ない。

もし事故を起こしたのが5月くらいで、しかもアリススプリングからメルボルンへ抜ける縦断の道ならよっぽど危ないんです！砂漠性気候だから夜は気温がマイナスですし昼は30度以上まで気温ががるという過酷な環境で立ち往生は生死に関わりますから！

ラウンドをしようと思っている人、考えている人は気をつけてね！

◆カンガルーの死体はスルー！赤ちゃんは保護しなければならない◆

「お前は何を言ってんだ？」というようなことを言われそうですがお聞きくださいね。

僕も実際シドニーのカントリーサイドでカンガルーの死体を見てきました。犬がはねられて死んでいるのと結構変わらない確率？とうような確率でカンガルーが死んでいました。

そしてカンガルーのお腹に赤ちゃんがいる場合、しかも生きています！というケースの時は実は保護義務が発生するんですね。

実は動物の保護の法律があるんです・・・どうでもいい豆知識ですが、出くわしたらめんどくさいので無視してしまったほうがいいです。

もしカンガルーにぶつかってしまい、もしそのカンガルーがメスだったらちゃんと袋の中を確認しましょう。

でも政府はカンガルーを見かけたら撃ち殺していいというふうに容認しているんですよ？しかもその肉をアフリカにボランティアで輸出しているんですよ？

結構わからないですね、オーストラリアって・・・

・車のラウンドは気をつけろ！～縦断編・

オーストラリア ワーホリに来たらやっぱりしたいのがラウンド。

特に公共交通手段ではいけないところへ行けるのが車を買っていく醍醐味。むしろその価値を換算すればよっぽど車代なんて安いし、処分するときの苦労はないというふうに思える人は車の購入をされてみてもいいのではと思います。

・ダーウィンからの縦断は超危険・

このルートは危険であり、毎年バックパッカーが死んでいる・・・なぜなら、野生の牛、馬、カンガルーなどが道を横切るからです。その上でかいからぶつかったらどっちもタダですまないのが現実なんですね。

アリススプリングスで働いていた時に OZ がゆっていました、一番危ないのは見晴らしがよく、信号が全くないストレート道が 1000 キロ以上続いていること。

なぜならみんなとばすし、スピードメーターなんてふりきったところで警察はいない、もちろんスピードガンもない。(オービス) そのスピードでバックパッカーなんて夜走るから本当に危ないんです。中にはスピードメーターが壊れている車も売っているほどです。

よくあるケースとしては、シートベルトしないで牛にぶつかってフロントガラスから投げ出されてそのま死んでしまったなんていう話は普通にある。一生に一度のワーキングホリデーでもあまりハメは外さないで行きたいですね。

・ノーサントリリーは夜走ること・

これは時期によるわけで、セントラルオーストラリアが冬の時期、3 月後半くらいから 6 月くらいの冬の間はいいですが、それ以外の時期は温度が高く、外気温が 45.8 の時があったりします。

それでも平均気温が 40 度をさらに超える日が続くし、こういう日の路面温度なんて 50 度を超えている。だからタイヤがすぐに溶けてはしれなくなり、すぐにバーストをするんです。

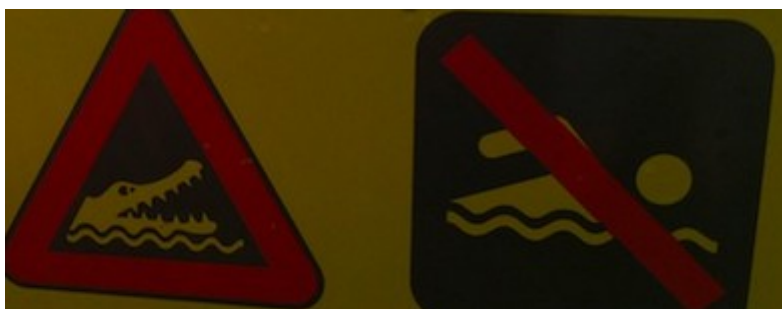
実際に日本人のカップルが来た時にタイヤを見たけど中のワイヤーが見えていたんですね。そんなになるまで走らなくても・・・って思ったんですがそこまで走るのがオーストラリアです。縦断は走らないとダメなんです。

パンクの、バーストの一步か半歩手前だったから本当に危なかったですよ。

砂漠性気候でよるはすごく寒いから本当に事故ったりでもしたら本当に死んでしまうし、携帯や通信手段なんてまずない。衛星電話を使っているブルジョワなそうがバックパッカーにいるか？といえばまずいません。

車のラウンド、特にダーウィンからメルボルンに抜けるルートは本当に危険だから気をつけてくださいね。

◆ケアンズの海に入ってはいけない理由



これも小ネタですが命に関わります。ケアンズの海というはどこも入れませんし浜辺に近づいてはいけません。

なぜなら、川と海の水がちょうど交じるあたりなので、塩分濃度が薄くワニが生息しています。

上の写真からもわかるように看板がっていますからうかつに近づかないようにしたほうがいいかもしれません。

ある日オージーの人が海辺を犬と散歩していたら、その犬がワニに食べられたという実話がありますから・・・

◆ウーフのお水◆



オーストラリアは基本的に水道水は日本人は飲まないほうがいいです。塩素の濃度が高いので、ちょうどプールの水を飲んでいるような感じです。

そして僻地に行くと写真のようなタンクがあり、雨水がダイレクトに屋根を伝ってタンクに入ります。これを飲み水として使っていますので、一回は沸騰させたほうが無難です。

飲み水はこのことを知らずに飲んでしばらく下痢していました・・・これから行くあなたは気をつけましょうね。